

2010年度青森公立大学公開講座

『財務諸表・決算書の 読解力・分析力』を養う



—「財務諸表・決算書」は経営情報の宝庫である—

企業は、国内・国外の市場経済の動向、業界の動向、競争企業の動向、顧客の動向などを踏まえて、企業目的達成のための経営戦略・経営方針に基づいて利益計画を設定し、更に具体的な実行計画として予算の編成を行い、その予算の達成に向けて経営活動を行っている。会計は、その企業の経営活動の「将来の姿」、「現在の姿」、「過去・結果の姿」を、会計数値を用いて写像し、内部・外部の利害関係者の意思決定のために有用な情報を伝達する行為である。

本講座では、企業の経営活動の結果を写像した財務諸表・決算書の見方・読み方・分析の仕方について学び、企業経営の「善し悪し」を判断できる能力を養うことを目的とします。具体的には、企業の経営活動の適否、収益性、安全性・健全性、生産性、成長性等に関する判断能力を養うことを目的としています。

また、本講座では、地元企業を含めた事例を用いて、経営者は会計数値に基づく適正な経営意思決定能力を、投資家・債権者・一般社会人等の外部利害関係者は各々の立場から適正な意思決定能力を養うことを目的としております。多くの人達の参加・聴講を期待しております。

- ▶ **第1回** 2010年11月16日(火) 講師：青森公立大学教授 藤永 弘
演題：財務諸表分析の意義・役割・仕方を学ぶ
—財務諸表の見方・読み方・分析の仕方を学ぶ—
- ▶ **第2回** 2010年11月30日(火) 講師：札幌学院大学教授 坂下 紀彦
演題：ホーム・センター業界の財務諸表から財務分析の仕方を学ぶ
—地元企業（サンデー）と全国展開企業（ホームック）を中心に—
- ▶ **第3回** 2010年12月7日(火) 講師：青森公立大学准教授 落合 孝彦
演題：スーパー業界の財務諸表から財務分析の仕方を学ぶ
—地元企業（ユニバース）と全国展開企業（セブン&アイHD）を事例として—
- ▶ **第4回** 2010年12月14日(火) 講師：青森公立大学准教授 及川 拓也
演題：倒産企業の財務諸表から財務分析の仕方を学ぶ
—倒産企業の事例を中心に—
- ▶ **第5回** 2010年12月21日(火) 講師：中央大学商学部教授 石崎 忠司
演題：成長企業の財務諸表から財務分析の仕方を学ぶ
—成長企業の事例を中心に—

いずれの回も 時間：18時30分～20時30分
場所：アウガ5階 青森市男女共同参画プラザ研修室
対象：一般の方 定員：40名程度

受講料：無料

申込方法

開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名、開催日と住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、はがき、FAXまたはE-mailでお申込みください。
はがきのあて先：〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎 153 番地4 青森公立大学地域研究センター公開講座 係
FAXの送信先：017-764-1593 地域研究センター
E-mailアドレス：kouza@bb.nebuta.ac.jp

主催 **青森公立大学**

電話 **017-764-1589** URL <http://www.nebuta.ac.jp/>

『財務諸表・決算書の読解力・分析力』を養う

— 「財務諸表・決算書」は経営情報の宝庫である—

▶ 第1回 財務諸表分析の意義・役割・仕方を学ぶ

—財務諸表の見方・読み方・分析の仕方を学ぶ—

11月16日(火)

青森公立大学教授
藤永 弘

本講座では、財務諸表分析の基礎理論として、最初に経営と会計の相互補完関係について学び、次に財務4表である「貸借対照表」、「損益計算書」、「株主資本等変動計算書」、「キャッシュフロー計算書」の見方・読み方について学びます。

そして最後に、財務諸表分析の基本的・汎用的技法の意義と分析方法について学びます。具体的には、経営者の視点、外部利害関係者の視点から財務諸表分析のための収益性分析、安全性分析、生産性分析、成長性分析等の基本的・汎用的技法について学びます。

▶ 第2回 ホーム・センター業界の財務諸表から財務分析の仕方を学ぶ

—地元企業（サンデー）と全国展開企業（ホームック）を中心に—

11月30日(火)

札幌学院大学教授
坂下 紀彦

本講座では、ホーム・センター業界のケースを用いて、財務諸表・決算書の見方、読み方、分析の仕方を具体的に学びます。特に受講者が理解しやすいように、東北地区を中心に全国展開を始めている「サンデー」と北海道から全国展開を行っている「ホームック」を取り上げます。

両社の経営戦略、経営方針などの比較を含めて、財務諸表の比較分析を行い財務分析の仕方を学びます。また同時にホーム・センター業界の平均指数との比較による財務分析方法についても学びます。

▶ 第3回 スーパー業界の財務諸表から財務分析の仕方を学ぶ

—地元企業（ユニバース）と全国展開企業（セブン&アイHD）を事例として—

12月7日(火)

青森公立大学准教授
落合 孝彦

本講座では、スーパー業界のケースを用いて、受講者の方々に「収益性分析の背後にある基礎的な考え方」を把握し、「収益性分析の手法」に慣れ、「利益率と株価の関係」について理解してもらうことに主眼を置きます。「利益率と株価の関係」を理解するためには収益性指標、とりわけ利益率についての知識が欠かせません。

本講座での収益性分析／指標についての説明は、第1回及び第2回の内容への理解を深める上で有用となるでしょう。

▶ 第4回 倒産企業の財務諸表から財務分析の仕方を学ぶ

—倒産企業の事例を中心に—

12月14日(火)

青森公立大学准教授
及川 拓也

自己資本比率や流動比率の値がそれほど不良ではないにもかかわらず倒産してしまうケースがあります。このような会社では、表面的な財務比率の値と会社の財務実態との間に大きな乖離が見られます。

本講座では、こうした財務実態と表面的な財務比率との乖離をいかに見抜くかに主眼を置き、倒産企業のデータを用いて解説します。なお、本講座は、与信判断など高度な財務分析まで想定しておりません。

▶ 第5回 成長企業の財務諸表から財務分析の仕方を学ぶ

—成長企業の事例を中心に—

12月21日(火)

中央大学商学部教授
石崎 忠司

会社の目的は、持続的な成長であり、存続・成長のためには戦略が必要です。戦略のない経営では成長できず、奇策なアイデアだけでは戦略とはいえません。

成功する経営にはどのような戦略があるかを明らかにすると共に、そのために求められる財務的条件を財務諸表に基づいて解説します。事例として、ユニクロ、吉野家などを取り上げ、成長性を中心に総合的に分析します。